

### 3 受入れのための面接

#### (1) 面接の流れ

面接時は、外国人児童生徒等や保護者は不安な気持ちでいっぱいです。言葉だけの説明では十分に伝わらないことが多く、更に不安を招いてしまうことがあります。面接では、翻訳資料を用意するなど、温かく受け入れる雰囲気をつくることが重要です。

#### 外国人児童生徒等と保護者来校

通訳が必要な場合、まず学校で通訳者を依頼しましょう。もし通訳者が同席できない場合は、通訳ができる保護者の親戚や知人にも同席してもらおうと、外国人児童生徒等も保護者も安心して面接に臨めるでしょう。母語の対訳集を用意したり、AI音声翻訳機や翻訳アプリなどを活用したりすることもできます（本書P70）。

#### 管理職、担任、日本語指導担当教員などの紹介

#### 内容

- 学校生活やルールの説明
- 教育関係費用の説明
- 必要な学用品等の説明
- 聞き取りシートの記入（本書P16）
- 保護者と確実に連絡が取れる方法の確認  
（通訳ができる保護者の親戚や知人、勤務先の通訳者）
- 保護者の記入が必要な書類の説明と記入  
（家で記入し、後日提出する場合もある）
- 初登校日の時間、場所、持ち物などの連絡
- 支援サービスの案内（本書P70）
- 通学路や学校周辺施設の確認
  - ・学校周辺地図を渡して、帰宅時に通学路や学校周辺施設の確認をしてもらうとよいでしょう。

\* 説明をする場面では、事前準備で用意した学校行事のビデオや写真（卒業アルバム等）を活用しましょう。

### ①学校生活やルールの説明

- 学校の一日の流れ、学習する内容、年間の主な行事予定
- 欠席、遅刻時の連絡方法
- 通学路や通学班（誰と学校に来るか）、登校手段
- 中学校で自転車通学の場合は、交通ルールの確認やヘルメットの着用
- 家庭学習（宿題）

※ 掃除、食事、宿題など日本の文化や習慣と異なる国もあるので、詳しく説明します。

### ②教育関係費用の説明

- 公立の小・中学校における授業料と教科書は無償であること
- 教育関係に費用がかかること
  - ・補助教材（ワーク、テスト、ドリルなど）、習字道具、絵の具セットなど
  - ・旅行費（修学旅行、校外学習費など）

※ 購入場所、納入方法、およその金額、口座振替についてなどを説明します。

※ 入学時に限らず学期の途中で購入するものや進級してから上の学年で使用するものもあることや新品購入でなくてもよい場合はその旨を伝えます。また、どうしても用意できない時は学校の貸出品を貸すことができる場合もあることを伝えます。

### ③学用品等の説明

- 通学時の服装や持ち物（ランドセル、通学カバン、制服、体育着など）
- 学校で使う文房具類の説明（筆箱、ノートなど）
- 給食セット（給食着やマスク、はしやスプーンなど）

※ 家庭で洗い清潔を保つように伝えます。



※ このような資料を用意するとよい（本書P69 「たのしい！とやまの小学校」等）。

### ④特別な配慮の有無

- 学習面、健康上、宗教上の配慮

### ⑤滞在予定

- 帰国予定や永住希望の確認

※ 転出や帰国の際は、早めに学校に連絡するように伝えます。

### ⑥進路希望

- 本人の希望、保護者の願いの確認

聞き取りシート  
本書P15、16、73

## (2) 聞き取りシート

外国人児童生徒等は、言語や文化、来日に至る背景などが様々です。一度に全てを知ることが難しいですが、初めての面接では必要なことを聞き、**聞き取りシート**（本書P73）に記入して指導に生かしましょう。この聞き取りシートは個別の指導計画（本書P50～52）を作成する時にも役立ちます。転入の場合は、転出した学校からの指導要録の写しや引継ぎ資料を活用することができます。

また面接時は、十分な時間がとれないことがあります。**家庭調査票と内容が重複する場合は、聞き取りシートに記入するのは必要な内容項目のみに**しましょう。

※ 面接結果等を踏まえて「**特別の教育課程**」（本書P20）を実施するか検討し、実施する場合には、設置者である教育委員会に書類を提出するなどの必要な手続きを行うことになります。

### ◆ 聞き取りシートの内容例 文科省手引き（P41）より

- |              |            |              |
|--------------|------------|--------------|
| • 本名と呼称      | • 性別       | • 生年月日       |
| • 来日年月日      | • 現住所      | • 緊急連絡先      |
| • 家族構成       | • 国籍       | • 家庭内使用言語    |
| • 滞在期間       | • 滞在予定     | • 日本語学習歴     |
| • 出身国での学習    | • 好きな教科    | • 得意なこと・趣味   |
| • 将来の希望・進路   | • 病歴やアレルギー | • 発達障害の診断の有無 |
| • 宗教上の配慮事項など |            |              |



### 「先生、僕の名前、違うよ」

外国から日本の学校に編入したAさんが、ある程度日常会話ができるようになった頃に言いました。

「僕の名前は、本当は〇〇って言うんだよ」

どうやら、日本の役所でふりがなを書く時、担当者がアルファベットの綴りを見て、ローマ字読みで登録してしまっていたようです。日本語がだんだん話せるようになり、ようやく自分のことを伝えられるようになったのですね。数か月も違う名前と呼ばれていたAさんは、どんなに寂しい思いをしたことでしょうか。

名前は、個人のアイデンティティの根源です。初めての面接のときに、本名をしっかりと確認しましょう。また、世界には様々な名前があり、必ずしも姓と名に分かれないこともあります。学校でどのように呼ばれたいかを聞き、本人・保護者の意向を尊重するようにしましょう。

※ 氏名のふりがなの変更は可能です。変更する際は、市町村の役所に相談することを保護者に伝えましょう。

<例>

本書 P73

聞き取りシート(編入時)

( 年 月 日 記入者 )

氏名		性別	男女	生年月日
日本での呼び名		国籍		来日年月日
現住所		緊急連絡先	① ②	

限られた時間の中で聞き取るので、家庭調査票等で分かっている部分は、後で記入します。

母語	語	家庭内使用言語	父(語) 日本語ができる ・ できない 母(語) 日本語ができる ・ できない
母国での就学歴	幼稚園・保育園 歳 ~ 歳	日本語ができる家族	いる 祖父・祖母・兄・姉・おじ・おば・その他( ) いない
	小学校 歳(年生) ~ 歳(年生)	通知文書の翻訳	翻訳不要 ・ ふりがなが必要 翻訳が必要(語)
日本語の学習経験	無 ・ 有 (ひらがな・かたかな・会話)	滞在期間や予定 永住希望	( )年頃まで滞在予定 ・ 永住希望
性格・趣味・得意なこと・苦手な教科など		保護者の願い (進学についての考えなど)	
健康面の留意事項 (アレルギーなど)		宗教上の配慮 (必要な場合)	

母語での学習経験 ※ 保護者が分かる範囲で簡単に聞き取る

教科	学習した主な内容	○・×	教科	学習した主な内容	○・×
国語			社会		
算数	たし算( けたまで)		理科		
	ひき算( けたまで)		音楽	楽器( )	
	かけ算( けたまで)				
	わり算( けたまで)				
	図形				
	長さ・重さ・かさ				
	時刻と時間				
その他母国で学習していた教科や、特別な活動、習い事等があれば					
宿題や家庭学習の習慣			有 ( 時間くらい) ・ 無		

・算数・数学は国によって、進度に差があるので、聞いておくと今後の指導に役立ちます。  
・実技教科は、音楽や図工のない国もあるのでどのような学習歴があるか、分かる範囲で聞くとよいでしょう。

受入れのための面接